

現在、29カ国の学習者と交流しています。

市岡国際教育協会・日本語教室は、大阪府立市岡高校定時制の閉鎖を受けて、働きながら学ぶ「定時制の灯」を消したくないと定時制の同窓会が中心となり 1996年5月にスタートしました。現在はNPO市岡国際教育協会が運営しています。

URL: <http://ichioka-nihongo.org/>

発行人/市岡国際教育協会理事長 吉田徳夫 /編集/広報係
大阪市港区市岡元町 2-12-12 TEL: 080-3846-2581

特定非営利活動法人
市岡国際教育協会 市岡日本語教室

- 場所 大阪府立市岡高校
- 日時 毎週金曜日午後7時から8時半
- ボランティア、学習者、募集中
- 見学随時、予約不要

e-mail: Ichioka_nihongo@hotmail.com

秋の遠足 奈良公園へ行ってきました~!!



「熱き奈良を想う」・・・市岡日本語教室、奈良ハイキングを終えて 4班 五味久美

深まりゆく秋、絶好のハイキング日和になりました!! 参加者は、総勢45名です。(カンボジア、ベトナム、ネパール、中国、韓国、香港、台湾、アメリカ、インドネシア、シェラレオネ共和国からの学習者の方々とボランティアと合わせて) 予定どおり、9:17発 大和路快速で、JR天王寺駅を出発しました。

「興福寺の阿修羅展」(10/17~11/23)や「天平に煌き 正倉院展」(10/24~11/12)と、今、まさに奈良は、いにしへの都を訪れる人々の熱気に溢れている!! JR奈良駅に降り立って十分に実感しながら、まずは三条通りへ。奈良独自の古い店舗や新しいスタイルのビル、新商店が立ち並び、行き交う人々の何と賑やかなこと!! 通りの先には、小さな采女神社(中秋の夜には、竜頭船を池に浮かべて采女祭りくうねめまつり)を行く。を経て、猿沢池(さるさわのいけ)が広がりました。興福寺五重塔が周囲の柳と一緒に水面に映る風景は何とも美しい!! 天平21年(749年)に造られた人工の池で、興福寺が行う「放生会」(万物の生命をいつくしみ、生き物を野に放つ宗教儀式)の放生池である。周囲360mある池のほとりをゆったりと歩いて、興福寺へ。藤原氏の氏寺として創建された興福寺は、藤原氏の隆盛とともに寺勢を拡大したが、何回もの火災にあい、その度にお堂が再建されたり、仏像が造りなおされたりした。平安時代の末、1180年の源氏と平家の争いの中で、興福寺は東大寺と共にほとんどのお堂が灰となってしまい、天平創建以来の名像の多くが失われた。まさに「阿修羅展」の仏像たちは、数度の火災を逃れることの出来たきわめて運のよい貴重な作品であることを再認識したいと思いました。

いよいよ奈良の名所・遺跡が一望できるという県庁の屋上へ昇っていきました。青く澄み渡った大空の下、南側には興福寺、東側には若草山・東大寺、西側には生駒山、北側には旧奈良ドリームランドが見渡せ、ほんとうに素晴らしかった。もちろん、全員の記

念写真を撮りました。そして、うれしい昼食タイムに・・・約1200頭に上る鹿が放し飼いされている奈良公園へ。国の天然記念物に定められ、古くから手厚く保護されてきた鹿たち。人にも慣れていて愛らしい!! 真っ赤に紅葉したナンキンハゼの樹や藤棚の下で、みんなで楽しく食べたお弁当のおいしかったこと!! とても良い雰囲気でした。

さあ、午後からは大仏(世界にあまねく光を投げかけ、あらゆる人々を救うとされる仏)が本尊の東大寺へ。天平時代、〈干害と台風により農作物不作〉〈大地震が発生〉〈天然痘の蔓延〉〈ひんぴんたる不審な山火事〉・・・大仏建立を發願した聖武天皇は、国内の混乱を仏の力で収めようと願ったと言われる。そして、743年(天平15)、聖武天皇の詔『国中の銅を使い尽くし、山を削って仏像を造ろうと思う』によって開始された大仏建立は、757年の塗金終了まで、実に14年もの歳月が費やされ、その原料から技術まで国力の全てが投入された大プロジェクトだった。(歴史への招待より) 今、私は、1300年も前、ペルシャ、インド、中国、朝鮮の国々と交流する国際性豊かな面だけでなく、大仏建立に関わる驚くべき鑄造技術や実際に現場で働いた苦しい人々の生活の実態があった天平という時代を探っていこうと考えているのです。全員無事、意義深い奈良の一日となりました。

奈良の遠足 岳霞(2班・中国)

今週の日曜日で市岡日本語教室の皆さんと一緒に奈良へハイキングに行きました。秋の遠足でした、少し色付いた紅葉に秋を感じながら、古都奈良を歩きました。

奈良市は日本文化の揺籃の地と呼ばれるのにふさわしい都市です。京都以上に、奈良にはお寺や神社があります。東大寺とか、春日大社、興福寺、正倉院の宝物殿などという壮大な建造物です。奈良駅から歩いて一番着いた名勝は猿沢池。猿沢池の周りを歩いて、興福寺五重塔が水面に影を映す景色はとてもきれいです。その後、奈良県庁の屋上に登りました。奈良がよく見えます、東大寺の屋根も見えました。そこで皆一緒に記念写真を撮りました。次は奈良公園をめざして、東大寺へ出発しました。

東大寺は世界最大級の木造建築で、南大門(なんだいもん)、大仏殿(だいぶつでん)、大仏(だいぶつ)の3つが国宝です。世界遺産に登録されています。公園内の大部分は芝生に覆われ、1200頭くらい鹿が放し飼いされている。彼らは観光客に愛嬌を振りまき、首を縦に振って鹿せんべいをねだる姿が人気を集めている。なお、この公園に鹿が放し飼いされていることは以下のように由来があります。一つは鹿は春日大社の神使であり、もうひとつは鹿は雷様の神使であり、いろいろな物語が先生たちに教えられた。

東大寺を見終わって、いったん解散。残り何人で見学の続きは二月堂(にがつどう)です。

お堂は少し高い所にあるので、東大寺がよく見えました。それから春日大社まで森の道を歩きました。木の葉や苔の香りがします。体は自然に囲まれて、ストレスが解消された。途中で学習者たちと先生たちよく交流して、日本の伝統文化のいろいろなところを勉強しました。普通に教科書から書いてなかったことを勉強しました。

皆さんと一緒にハイキングしました、本当に良かったと思う、これからもういろいろな活動を参加したいと思います。先生たちはお疲れさまでした、感動させて頂きました。本当にありがとうございました。



奈良へ行ってきて・・・ 尹泳峻(4班・韓国)

2009年11月8日、朝8時半に家を出ました。天気もいいし、気分も良かったです。家の近所で友だちに会って、地下鉄に乗って天王寺駅まで行きました。約束時間より10分前に着いて待っていた前田先生に会いました。そして電車きっぷを買ってからみんな一緒に奈良に出発しました。奈良駅に着いて初めて行った所は猿沢池でした。そこで一回り回った後で興福寺へ行きました。入口で見た五重塔は本当高くて感嘆しました。そして、興福寺を過ぎて奈良県庁の展望台に上がりました。そこでは奈良の景色が一目に見えて本当にすばらしかったです。その後で、公園で昼飯を食べながら鹿も見ました。その時味をした奈良漬もおいしかったです。最後に行った所は東大寺でした。そこでとても大きい大仏様を見たんですが、あの大仏様が日本で一番大きい大仏だと聞きました。やはりすごかったです。東大寺見学を最後で今日のハイキングは終わりました。

親切に案内してくれた先生たちに『本当にありがとうございました』と言いたいです。

とてもおもしろくて意味があった一日でした。

LUCENT・大西

貸工場・貸倉庫・マンション

大阪市港区波除3-8-14

TEL: 06-6584-0024